

令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県北会場

科目 ③子ども家庭福祉施策と放課後児童クラブ

- ◆ 日本の現状として核家族化や地域とのつながりの希薄化といった状況から、子育てへの不安が起こり、出生率の低下や少子化の進行が見えるようになったと言われている。そんななかで、子育てしやすい社会を目指した仕組みが子ども・子育て支援新制度だと学びました。我々が納めている税金も新制度に使われていると知りうれしくなりました。また、バスの安全装置に関しては、一部のクラブだけでなく、全てのクラブのバスについて欲しいと思いました。
- ◆ 何かあったときの知識として持っておきたいと思える学習でした。また、今後施策が変更になることもあるかと思いますので、情報は常に新しくしておく必要があると思います。こういった施策を知ることで、私たちに与えられている役割を再度理解できるのではないかと感じました。日々、子どもたちの対応をしていると忘れがちになってしまう部分だと思いますので、定期的に時間をとって確認したいです。
- ◆ 様々な制度により、子育て支援がされていることが理解できました。子どもを持ちたいという若者が少ないとも感じるし、それ以前に結婚しなくても同じという若者もいる。様々な支援内容が伝われば、少しでも子育てが身近に感じるのかなと思う。制度の中で、障がい児に手厚く支援されていると感じた。今後インクルージョンを目指し、発達障害やグレーゾーンの子どもの対応の仕方等、もっと学びの場で情報共有できたら良いと感じた。
- ◆ 私が住む大館市も人口はどんどん減っているにも関わらず、世帯数は増えていっています。就労女性の増加、そして地域とのつながりの希薄化、そのような社会情勢の中、放課後児童クラブの役割は子どもや子どもを養育している者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもがすこやかに成長することができるよう安全かつ安心して過ごせる場所を提供することであると理解できました。
- ◆ 放課後児童クラブの運営に関わる事業が15種類もあり、それぞれ細分化されていることを学びました。子どものみならず、職員や保護者への支援もあり、放課後児童クラブに関わる全ての職員が詳しく知るべき支援策であると思いました。最後にご紹介いただいたキッズプラザ桃花では、活発に遊ぶ部屋と静かに過ごす部屋に分けているとのことですが、子どもたちのストレスを軽減する意味で、とても良い取組だと思いました。